

熊本市地域包括支援センター連絡協議会実務者研修会について

チャレンジ！ささえりあ2020（令和3年3月4日開催）

定期で開催している熊本市地域包括支援センター連絡協議会研修部会の実務者研修の一環として実施。

本年は、多様化する課題の解決に向けて、各地域包括支援センターの取組事例を共有化するため、事前に包括支援センター連絡協議会ホームページ内で掲載を行い、優良事例（5事例）の選出を行った。選出された事例はオンラインによるプレゼンテーションを行い、優良事例の共有化とプレゼンスキルの向上を図った。

（1）参加者

ささえりあ、区役所福祉課、まちづくりセンター職員

（2）結果（優良事例）

○ささえりあ浄行寺

『「高校生」とまちづくり～これからを担う若者の力～』

⇒圏域内に学校が多いという特徴を活かし、必由館高校で学校近隣に住む高齢者宅を訪問し、年末掃除ボランティアを実施。また、「黒髪西地域お助け隊」と共同で、野菜・花プランターの配布活動や、お困りごとに対する生活支援ボランティアを実施。

○ささえりあ白川

『防災から福祉へ～防災を切り口とした白山9町内の高齢者見守り活動～』

⇒白山校区9町内自主防災クラブの登下校見守り活動を活かして、高齢者見守り活動を実施。

○ささえりあ保田窪

『おれたちが主役！～男の集いから地域食堂～』

⇒西原校区男性だけの集いの場の人たちに実行委員となってもらい、地域食堂「西原よってっ亭」の立ち上げを実現。

○ささえりあ富合

『新型コロナ禍におけるリモート会議の有効活用と支援を考える』

～富合サロン設立運営委員会の活動紹介～

⇒サロン設立運営委員会におけるリモート会議体制を構築。サロン活動に限らず、このコロナ禍で必要な地域住民の活動の展開や創造と一緒に考える場が実現。

○ささえりあ清水・高平

『コロナ禍におけるささえりあ清水・高平の活動 会いたい！集いたい！』

～地域のつながりと介護予防の意識を途切れさせないために～

⇒地域住民をはじめ、民生委員・児童委員、ケアマネジャー、介護保険事業所等にニーズ調査を行い、①地域への普及啓発、②外出を自粛している高齢者への介護予防、③担い手、人材育成の3つの項目を重点活動と位置付けて活動を実施。